

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

三菱電機株式会社 福山製作所

(2) 事業所の所在地

広島県福山市緑町1番8号

(3) 業種

電気機械器具製造業【開閉装置・配電盤・電力制御装置製造業】

(4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成 23 (2011) 年度を基準年度とし、平成 25 (2013) 年度から平成 27 (2015) 年度までの 3 年間とする。

3 計画の基本的な方向

1. 行動指針

弊所は配線用遮断器を中心とした計測制御システムを製造し、その製品を国内外へ広く提供しており、省電力などエネルギーの有効利用による地球温暖化防止をはじめ、環境の保全に重大な役割を担っている。

一方、製品の開発・製造にあたっては、電力をはじめとするエネルギーなどの資源を消費し、環境に与える影響も大きいと認識しており、資源調達から開発、製造、輸送、使用、廃棄にいたる、各プロセスでの環境配慮に努める。

2. 方針

- (1) 環境保全に配慮した製造技術・省資源プロセス・情報技術を積極的に導入し、エネルギー・廃棄物等、環境影響の低減を推進する。
- (2) 環境関連法、県・市の条例、福山市との公害防止協定および地区が同意するその他の要求事項を遵守する。
- (3) 環境問題への取り組みを積極的に推進するため組織化を図り、自主管理活動による環境マネジメントシステムの維持向上を実践する。
- (4) 環境教育、社内広報活動等を通じて組織で働く または組織のために働く全ての人に環境方針を周知させ、環境問題に対する意識向上を図る。
- (5) 製品の出荷から廃棄に至るまでを考慮した環境負荷低減型 および低減提案型のエコプロダクツ創出に努める。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成23年度	平成24年度
二酸化炭素	15,673	14,448	13,794

注. 体育館等の福利厚生施設のエネルギー使用量は除く(以下同じ)

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成 年度	平成 年度
二酸化炭素			

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成23年度	平成24年度
メタン	9.73	10	11
一酸化二窒素	※ 18.07	16	18
HFC PFC SF6	2.39	0	0

※ 平成2年度の窒素濃度については、当時下水道法規制対象外でありデータが無い為、規制対象となった平成6年度の濃度を採用した。

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)		削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)	
エネルギー起源CO ₂					0
非エネルギー起源CO ₂					0
メタン					0
一酸化二窒素					0
フロン類					0
温室効果ガス 実排出量総計					0
温室効果ガス みなし排出量					0
目標設定の考え方					

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

t-CO₂/億円

単位：排出量 (t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 2 3 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成 2 7 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	14,448	893	16.19	17.0	16,199	1,205	13.44
非エネルギー起源CO ₂				#VALUE!			
メタン	10	893	0.011	-9.1	14	1,205	0.012
一酸化二窒素	16	893	0.02	0.0	21	1,205	0.02
フロン類				#VALUE!			
総排出量	14,474	893	16.22	17.0	16,234	1,205	13.47
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-	7.38	13.8	-	-	6.36
目標設定の考え方	弊所のエネルギー削減計画に基づき作成。						

※ 削減率 (d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位 (c) = (a) / (b) 原単位見込 (g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	ボイラでのCO ₂ 排出量を31%削減	<燃料転換第3期> ボイラ更新 (A重油 → 都市ガス13A) (H25年度予定)
2	電気使用量の削減	電気の使用量を1.2%削減	生産工場の空調機更新 (H25～H27年度予定)
		電気の使用量を0.2%削減	局部変電所変圧器更新 (H27年度予定)
		電気の使用量を0.3%削減	コンプレッサ更新 (H27年度予定)

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

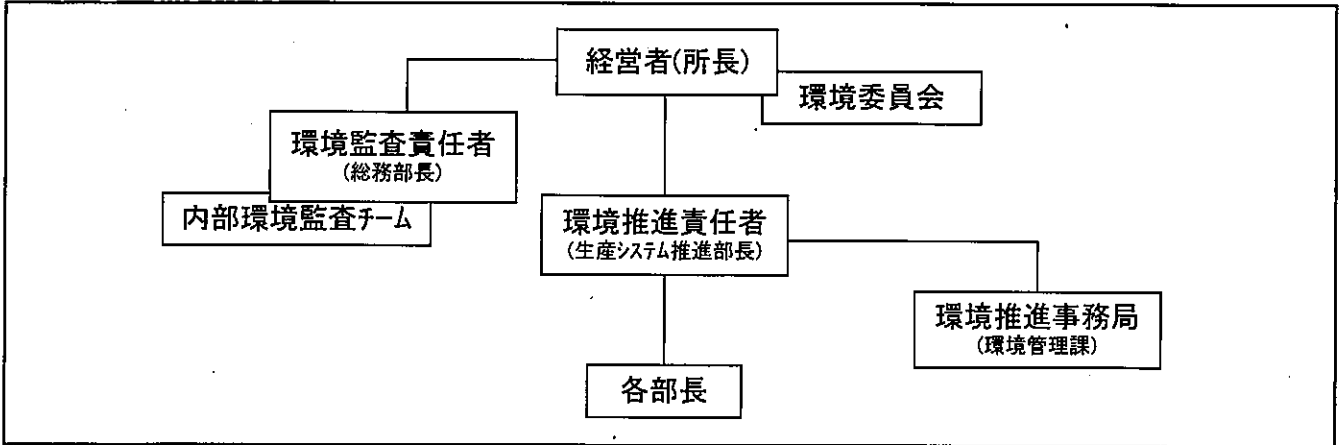
○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量を14%削減 (H27年度末までにH24年度比の 生産高原単位削減比率)	廃プラスチックなどの有価物化推進
2	里山保全活動	—	植樹及び草刈（年2回）
3	工場周辺の清掃	—	工場周辺・河川の清掃（年2～3回）

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

環境マネジメントシステムが規格の要求事項を含め環境管理のための計画に適合しており、かつ弊社全体および各部門で継続的にかつ有効に運用されていることを確認するために、年1回および環境側面変化に応じてその都度『内部環境監査規程』に基づき、環境監査責任者が実施する。

(3) 計画書等の公表

製作所に備え付けて閲覧する。